

出題 螢雪ゼミナール

長良北校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次のうち、本名ではなく、ペンネームのものを選びましょう。

二葉亭四迷

夏目漱石

芥川龍之介

宮沢賢治

太宰治

三島由紀夫

豆知識 雑学コラム

ペンネームの物語

今日は、ペンネームについてです。ペンネームとは、小説や詩などを発表するときに使用される本名以外の名前のことですね。作家のペンネームは、どのように生まれたものなのでしょうか。では、ペンネームについてみていきましょう。

まずは、二葉亭四迷です。二葉亭四迷は、明治時代の作家でそれまで古文のよ

うな文で書かれていた小説を、日常で使う話し言葉のような文で書くという言文一致運動をしたことで有名な作家ですね。この二葉亭四迷は、小説「浮雲」を発表するとき本を売るために自分の名前ではなく、既に有名な小説家であった

師匠の坪内逍遙の名義で出版しました。このことを二葉亭四迷はとても恥に思

い、「くたばってしまえ」と厳しい言葉で自分自身を責めました。この自分を責めるとき「くたばってしまえ」から「くたばていしめい」、「二葉亭四迷」という感じでペンネームが生まれました。「二葉亭四迷」は自分への戒めの言葉がもとになって生まれたペンネームというわけ

です。次に、太宰治です。太宰治の太宰は万葉集の歌人大伴旅人の役職、太宰権帥からとったものです。この大伴旅人はお酒好きの歌人で、太宰治もお酒好きだったことからペンネームにしました。このように、昔の作家に由来を持つペンネームの作家は江戸川乱歩（アメリカの作家エドガー・アラン・ポーから）などたくさんいます。

最後に三島由紀夫です。三島由紀夫は、作家デビューをするときに学校の先生の

勧めでつけた名前です。この名前は、その先生の先生が名前を考える前に立ち寄った静岡県岡山の「三島」市で見た富士山の「雪」がきれいだったことから名付けられました。もし、三島由紀夫の先生が富士山の雪をもっと違う場所で見えていたら、違うペンネームになっていたかもしれないですね。このように偶然で生まれたペンネームもあります。

【解答】

(正解)宮沢賢治、芥川龍之介、三島由紀夫

筑樋拓真

長良北校

三島由紀夫

宮沢賢治